

社会科学学習指導案

日 時 10月23日(火) 第5校時
展開学級 1・2・3年4組
展開場所 1・2・3年4組教室
授業者 教諭 石井 康富

1 題材名 「日本の地方区分と都道府県」 ～他教科との関連づけをして～

2 題材について

(1) 千葉県学校教育課題 特別支援教育の目標との関連から

平成24年度 目標
小学校及び中学校の学校の目標を踏まえ、障害による学習上又は生活上の改善・克服し、自立を図るために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う工夫改善を図る。

日本の地方区分や都道府県については、小学校でも学習していることが多く、生徒にとっては比較的安易な内容になりがちであるが、47都道府県を読むことはできても漢字で書いたり、ローマ字で書いたりとなると学習内容に幅を持たせることができる。また、既習学習の内容を個別の学習課題に取り入れることにより、小学校を含め今までの学習を生かすことができ、将来の社会的自立を図るために必要な知識、技能を身につけられると考えられる。さらに都道府県の学習内容は、都道府県名にとどまらず、それぞれの景勝地や特産物など「有名なもの」を織り交ぜることやパワーポイントの活用により「有名なもの」を安易に入れ替えることにより汎用性が広がり多くのバリエーションを生むことができ、多角的な知識や技能を身につけることにつながると考えられる。また、カルタ方式を取り入れることで、机上での学習にとどまらず、体を動かすことにより、体得できた学習は、確かな知識、技能に結びつくと考え、本主題を設定した。

(2) 市教研統一主題との関連から

平成24年度 市教研統一主題
自ら学び心豊かに生きる力を身につけた児童生徒の育成

研究の重点

- 1 自ら生きる目標を求めて実現に努める態度の育成
- 2 主体的に活動できる場の工夫、改善
- 3 児童・生徒理解を図り、個性や能力に応じた指導法の工夫、改善
- 4 自律、自製の心や共にかかわり合う力と実践力の育成
- 5 内容の明確化と効率的な管理・運営

特別な支援を要する生徒の多くは、学習に対して受動的である。そして、自ら目標を持ち社会の中で自立を考えることは、難しいものがある。そこで、自ら主体的に学ぶことができる学習環境を整えることができれば、学習の楽しさ成就感を持つことができると考えられる。(研究の重点1・5) また、自分の将来に具体的に役に立つ学修内容を個の発達段階に応じた学習課題を設定することにより、主体的に学習を進めようとする生徒の育成につながるものと考えられる。(研究の重点2・3・4)

本単元では、社会的な視野を広げる1つの手段として、日本の地方区分や都道府県名を学習し、日本国内の様子に興味・関心を持ち、社会的自立または余暇活動の充実にもつながるものと考え設定した。

(3) 市教研特別支援教育全体研究主題との関連から

平成24年度 特別支援教育全体研究主題
「特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の理解と指導のあり方」

特殊教育から特別支援教育となり、それぞれのニーズのあり方がよく話題となる。個別の指導計画や個別の支援計画と特別な支援を要する生徒を教育という立場から、多角的に生徒を理解する必要がある。とりわけ特別支援学級に在籍している生徒については、一人一人の能力の個人差が大き

く、一つの集団として一斉授業には、限界がある。そこで、本単元では、一斉授業で大きく個人差が出てしまう部分を個別の学習課題でそれぞれの発達段階に応じた課題を設定して取り組むことで学習の成就感をもつことのできる指導を行いたいと考えている。また、教材には、コンピュータや電子黒板を駆使し、生徒にも積極的にコンピュータに触れさせることにより、時代に即した内容を取り入れ、適切に評価をすることで、さらに意欲的な学習態度を身につけられるようにしたい。

(4) 市教研Bブロックのテーマとの関連から

市教研Bブロックのテーマ
「個々の能力に応じた表現力を育てるための支援のあり方」

特別な支援を必要とする生徒の学習方法として、視覚に直接訴えることのできるカードを用いて学習内容は、効果的である。しかし、複数の生徒との学習では、単なるカルタ取りのようになり、個々の能力差が明確になってしまうことが、多々見受けられる。また、さらに学習を深めることも難しくなってくる。そこで、本題材では、プレゼンテーションソフトのパワーポイントを活用し、①ディスプレイ上から自分の取った都道府県名を探しあてる。②教師がカードの内容を補足説明する。という活動を取り入れることにより、社会の中で知り得ることにより、将来のコミュニケーションに役立つであろう内容を学習の中に取り入れた。また、時間制限を設けることで、47都道府県のあえて全てのカードを取りあわず、次の個の発達段階に応じた学習課題に取り組むことにより、他教科との関連を深められると考え、本主題を設定した。

(5) 本校の研究主題との関連から

平成24年度 本校研究主題
基礎的な知識・技能を活用する力を育てる指導法の工夫
ーコミュニケーション能力の育成を通じてー

本校は、海浜地区に昭和54年に創立した千葉市で42番目の中学校である。創立当時は、開発ラッシュが続き、近代的な建物が次々に建設された。ピーク時には生徒数も全校で1196人、26学級の大規模校であったが近年、学校の規模は減少し、第1学年2学級、第2学年3学級、第3学年2学級、特別支援学級1学級で構成され、全校生徒も245名の小規模校となっている。現在の本校の特色として、外国系の生徒が多く約30%を越える勢いで増え続けている。そのために通常学級に在籍している生徒の中には、日本語の指導を必要とする生徒や生活環境（文化）の違いからコミュニケーション能力を課題とする生徒も多数在籍している。以上のことから、本主題を設定した。

削除

以上のことから、いずれは、社会の一員として活躍をしなければならない生徒にとり、早い時期から自立を意識させた指導が必要となる。各自の障害に加えて人との関わり方には、社会の中で生活していくための基礎的な知識や技能が必要と考え、本単元の中には比較的身近なことから視野を広げるための一つの手段として取り組んでいきたい。

3 学級の概要

(1) 校内体制 (特別支援学級保護者会資料より抜粋)

① 授業について

教科学習の他に生徒の実態に応じて特別なカリキュラムを計画。

ア 日常生活の指導の時間<日生>

イ 行事などに取り組む学習<生活単元学習>

ウ 交流学級に入り、通常学級の生徒と一緒に学習を行う<交流>

エ 個の実態に応じた課題学習等

② 特別支援学級の生徒は、交流学习などで一緒に生活をする交流学級に所属します。ここで教科の指導や給食など実態に応じての生活を行う。

(2) 一日の生活 (週29時間)

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	教科・生活単元学習・交流・作業学習				
3					
4					
5					
6	総合	生活	道徳	総合	

- 身辺処理 (着替え)
- 身体づくり など

- 普通学級の学習内容 (特に技能教科) により、交流授業を実施。

- 総合：交流学年計画に合わせる。
- 生活：日記の記入、課題学習への取り組み
- 道徳：学級での道徳を実施。(ソーシャルスキルトレーニング等含む)

(3) 年間指導計画 (委員会届け出)

<別紙資料参照>

(4) 年間行事予定 (特別支援学級保護者会資料より抜粋)

前期

月	日	曜	行 事
4	5	木	○着任式・始業式
	6	金	○入学式
	10	火	○給食開始
	11	水	○新入生歓迎会
	18	水	○尿検査1次
	19	木	○耳鼻科検診
	24	火	○市教研
	26	木	○歯科検診
	28	土	○教育活動参観日 ○学年保護者会 ○学級保護者会 ○振替休業日
5	1	火	○振替休業日
	10	木	○尿検査1次2次
	13	日	○3年生修学旅行 ~15日
	16	水	○3年生代休
	22	火	○1年生校外学習
	25	水	○1年眼科検診
29	火	○生徒総会	
6	2	土	○体育祭
	3	日	○体育祭予備日
	4	月	○振替休業日
	6	水	○1, 3年内科検診
	15	金	○前期中間テスト
	18	月	○前期職場実習 ~22日(3年)
	19	火	○市教研
29	金	○市内小学校保護者参観日	
7	3	火	○4組げんき交流会
	4	水	○三者面談 ~6日
	19	木	○総体壮行会
	20	金	○給食終了・大掃除・全校集会
	21	土	○夏季休業 ~8/31日
	21	金	○総体 ~26日
24	火	○生徒作品展(千葉そごう) ~30日	
25	水	○前期学習講座 ~27日	

月	日	曜	行 事
8	24	金	○全校登校日
	27	月	○後期学習講座 ~29日
	31	金	○夏季休業終了
9	3	月	○授業開始 学年集会
	4	火	○前期期末テスト ~5日
			○給食開始
	11	火	○市教研
	15	土	○総合展 ~17日
17	日	○自然教室(2年) ~20日	
21	金	○2年生代休	
10	2	火	○生徒会役員選挙
			○給食終了
	3	水	○お弁当の日
	4	木	○前期終業式 ○秋季休業 ~9日

- ※ 学級の独自の行事として、社会見学(昨年度は、こてはし温水プールを実施)。
 ※ 職場実習は、2年次で1回(後期)、3年次に2回(前期・後期)実施する予定。
 ※ 高浜海浜小学校との交流・共同学習を上記以外に実施予定。

後期

月	日	曜	行 事
10	10	水	○後期始業式
	11	木	○後期給食開始
	20	土	○高輝祭
	22	月	○振替休業日
	23	火	○市教研
	26	金	○教育活動参観日
11	5	月	○後期職場実習（2、3年） ～9日
	15	木	○特別支援教育振興大会
	20	火	○市教研 ※本校会場
	22	木	○後期中間テスト ○4組校外学習
12	5	水	○げんきキャンプ ～7日
	10	月	○三者面談 ～13日
	14	金	○合同マラソン大会
	20	木	○給食終了
	21	水	○お弁当の日 ○授業終了 ○大掃除 ○学年集会
	22	土	○冬季休業 ～1/6日

※ 合同予餞会への参加は、真砂中学校との共同学習を実施予定。

月	日	曜	行 事
1	6	日	○冬季休業終了
	7	月	○授業開始
	8	火	○全校集会
	10	木	○給食開始
	15	火	○教育実習開始 ○市教研
2	1	金	○合同予餞会 ○公立前期選拔出願
	12	火	○公立前期選抜検査 ～13日
	14	木	○後期期末テスト～15日
	19	火	○公立前期選抜発表
	21	木	○公立後期選拔出願
	25	月	○新入生保護者説明会
	26	火	○新入生部活動見学会
	28	火	○公立後期選抜検査
3	5	火	○予餞会
	6	水	○公立後期選抜発表
	8	金	○公立二次募集出願
	11	月	○卒業式前日準備
	12	火	○第34回卒業式
	14	月	○2年球技大会 ○公立二次募集検査
	15	火	○1年球技大会
	18	月	○公立二次募集結果発表
	21	木	○大そうじ
	22	金	○修了式
28	月	○学年末休業 ～31日 ○離任式	

(5) 時間割 (特別支援学級保護者会資料より抜粋)

①第1学年

時間	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	国語	数学	英語	音楽	作業
3	音楽	技・家	国語	国語	作業
4	音楽	技・家	英語	社会	理科
5	生活	特活	英語	数学	音楽
6		総合	生活	道徳	総合

交流学习担当者

	教科	主指導	S	T
月 3	音・美	阿 部	森	田
月 4	保 体	川 上	阿 永	部 通
水 4	保 体	川 上	永 通	通 田
水 5	音 楽	阿 部	秋 田	田 通
木 2	美 術	阿 部	秋 田	田 通
金 5	保 体	川 上	永 通	通 田
火 3 4	技 家	大 橋		

※ 月曜日の3校時：「音・美」は、1週間ごとに入れ替わります。
 ※ 網掛けは、交流学习

②第2学年

時間	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	国語	網掛け	英語	網掛け	作業
3	数学	技・家	国語	国語	作業
4	網掛け	技・家	国語	社会	理科
5	生活	特活	網掛け	網掛け	数学
6		総合	生活	道徳	総合

※ 網掛けは、交流学习

交流学习担当者

		教科	主指導	S	T
月	4	美術	森永	田通	渋木
火	2	保健	森永	田通	石橋
水	5	音楽	永阿	通部	金子
木	2	音楽	永阿	通部	金子
木	5	音楽	永阿	通部	金子
火	3 4	技家	大橋		

③第3学年

時間	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	国語	数学	英語	網掛け	作業
3	網掛け	技・家	網掛け	国語	作業
4	網掛け	技・家	国語	社会	理科
5	生活	特活	網掛け	網掛け	数学
6		総合	生活	道徳	総合

※ 網掛けは、交流学习

交流学习担当者

		教科	主指導	S	T
月	3	音楽	川阿	永金	通子
月	4	音楽	川阿	永金	通子
水	3	音楽	川阿	永金	通子
水	5	音楽	川阿	永金	通子
木	2	音楽	川阿	永金	通子
火	3 4	技家	大橋		

- 総合的な学習の時間：「総合」または、特別活動：「特活」は、学校行事や学年行事などでの取り組みの場合は、交流学习となる。
- 金曜日に作業学習の時間を設定しています。主に畑作業を中心に行っている。昨年度は、さつまいもをはじめ、季節の野菜の栽培に取り組んだ。
- 今年度より、技術・家庭科は、交流学习ではなく、学級の実態に応じた内容を専門の教師に担当してもらうこととなった。

4 生徒の実態について

削除

5 指導計画 7時間扱い

- (1) 日本の形と島の名前・・・・・・・・ 1時間
- (2) 日本の地方区分・・・・・・・・ 1時間
- (3) 日本の地方区分と都道府県・・・・・・・・ 4時間 (本時 4/7)
- (4) 単元テスト・・・・・・・・ 1時間

6 本時の学習

(1) 単元の目標と本時の目標

生徒 (学年)	学習スキル	単元の目標 (関連教科等)	本時の目標 (関連教科等)
削除	削除	<ul style="list-style-type: none"> ○ 47都道府県パズルで都道府県の位置と名称を一致させることができる。 (国・数) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パソコンを起動させ、都道府県パズルを開始することができる。 ○ 楽しくカルタ取りに参加できる。 (国・技)
削除	削除	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字で表記された都道府県名を読むことができる。 ○ タイム・タイマーを使って指定された時間をセットすることができる。 (国・数) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み方のわからない都道府県名を自分で調べたり、聞くことができる。 ○ タイム・タイマーで15分をセットすることができる。 ○ 楽しくカルタ取りに参加ができる。 (国・数)
削除	削除	<ul style="list-style-type: none"> ○ パソコンを使って都道府県パズルを完成させることができる。 ○ わからない場合に質問することができる。 (国・技) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A→Z順のローマ字カードで都道府県名を表すことができる。 ○ ローマ字で都道府県名を書き写すことができる。 (国・技)
削除	削除	<ul style="list-style-type: none"> ○ パソコンで都道府県名をローマ字入力することができる。 ○ 都道府県庁所在地をパソコンで調べることができる。 (国・技) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーボード配列のローマ字カードボックスをから都道府県名を並びかえた後、パソコンで都道府県名を入力し庁所在地を調べ、ワークシートに記入することができる。 (国・技)

(2) 展開

課程	時配	学習内容と活動	教師の指導と支援	資料・評価
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめのあいさつをする <ul style="list-style-type: none"> ・ 日直が号令をかける。 ○ 前時までの学習内容を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の構成 ・ 日本の地方区分 ・ 都道府県の数 ○ 本時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に取り組む姿勢ができているか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組む姿勢が不十分な生徒に対して名前を呼ぶ。 ○ 日本地図を示し、今までの学習を想起させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの島 ・ 8つの地方 ・ 1都1道2府43県 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本地図 ・ パワーポイント
展開1	18分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の地方区分と都道府県を覚えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県カルタの取り札を各地方毎に一人10～15枚を並べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道・東北地方 ・ 中部地方 ・ 関東地方 ・ 近畿地方 ・ 中国・四国地方 ・ 九州・沖縄地方 ○ ルールの説明を聞く <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は、15分間 ・ 間違えた生徒は、一回休み ・ 削除、削除は、少し前の場所 ・ たくさんとれたらイスを少し後ろにする ・ もっとたくさんとれたら、先生のお手伝いをする </div> ○ 机を前方に出し、カルタ取りの準備をする。 ○ 都道府県カルタを始める <ul style="list-style-type: none"> ・ 削除は、15分後の終了時間をセットする。 ○ 獲得できたカードの都道府県名を地図中から探し出し電子黒板の画面で選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方区分に属する都道府県について確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地方については、北陸地方、東海地方、中央高地(東山地方)については触れないようにする。 ・ 中国地方については、中華人民共和国とはちがうことに触れる。 ○ 話を聞くことのできる姿勢を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 削除：口を空けないで話を聞く姿勢 ・ 削除：体の軸線が正面を向いている ・ 削除：頬杖をついて話をきこうとしない ・ 削除：よそ見をしない ○ 削除、削除の体のマヒを配慮し、イスを前方に移動する。 ○ 15分の位置を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムキーパーで15分のバックアップをする。 ○ 各都道府県のカード内容に合わせて簡単な説明を加える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 間違えてカードを選択してしまった生徒は、一回休みとルールを明確にする。 ・ 正しくカードを取ることができた生徒や正しく都道府県名を電子黒板で選択できた生徒には賞賛する。 ・ 迷っている場合は地方区分や近くの都道府県名を伝え支援する。 ・ 取ることのできたカードが少ない生徒は、イスを前に出し取りやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カルタセット ・ 地方区分カード ・ タイムタイマー ・ 正誤表示機 ・ タイムキーパー ・ パワーポイント ・ 電子黒板 ・ 正誤表示器

		<ul style="list-style-type: none"> ○ カルタ取りを終了する ○ 机を定位置に戻す ○ 取ったカルタの都道府県名をワークシートに書き入れる。 ○ 取ったカルタを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・ 「〇〇地方は、〇枚」と発表する。 	<p>ようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板で選択を間違えた場合は、「もう一度考えてみよう」などと支援し、素早く元に戻せるようにワイヤレスのマウスで操作する。 ・ 削除、削除は多くのカードを取る可能性があるので、差が大きく開いてきたら、ピンポンブーの係を任せる。 ○ タイムタイマーに合わせて終了する。 ○ 次の課題に素早く移れるように削除を支援する。 ○ 地方区分でつまづいている生徒には、ワークシート2を配布する ○ 発表は、3年生から行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表に賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤレスマウス ・ワークシート1 ・ワークシート2
展開2	20	都道府県をもっとくわしく勉強しよう		
まとめ	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の課題を聞く <ul style="list-style-type: none"> ・ 削除：パソコンで都道府県パズル ・ 削除：都道府県ボードで漢字とのマッチング ・ 削除：ローマ字カードで都道府県名を作成 ・ 削除：都道府県庁名をパソコンで調べワークシートに記入 ○ 本時の学習したことを各自発表する。 ○ 次時の学修内容を知る。 ○ おわりのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の課題の取り組みを机間巡視しながら必要に応じて支援を行う。 ○ 質問がある場合は、手を挙げて質問をすることを伝える。 ○ 削除、削除は一つの都道府県名ごとにできたら報告をするよう伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 削除は、A→Z順のカードボックスを使用する。 ・ 削除は、J I S配列のカードボックスで並び変えた後パソコンで調査 ○ 発表を賞賛する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表が聞き取りにくい場合には、補足をする。削除、削除、削除、削除 ○ 単元テストを行うことを伝える ○ 授業を終える姿勢ができているか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の授業について講評し次時への意欲に結びつける。 ・ 取り組む姿勢が不十分な生徒に対して名前を呼ぶ。 	

(3) 評価

削除

- パソコンを起動させ、都道府県パズルを開始することができたか。
- 楽しくカルタ取りに参加できる。

削除

- 読み方のわからない都道府県名を自分で調べたり、聞くことができたか。
- タイム・タイマーで15分をセットすることができたか。
- 楽しくカルタ取りに参加ができたか。

削除

- A→Z順のローマ字カードボックスから都道府県名を表すことができたか。
- ローマ字で都道府県名をワークシートに書き写すことができたか。

削除

- キーボード配列のローマ字カードボックスをから都道府県名を並びかえた後、パソコンで都道府県名を入力し庁所在地を調べ、ワークシートに記入することができたか。

年間指導計画 様式Ⅲ

3 年間指導計画

学校名

千葉市立高浜中学校

学級名

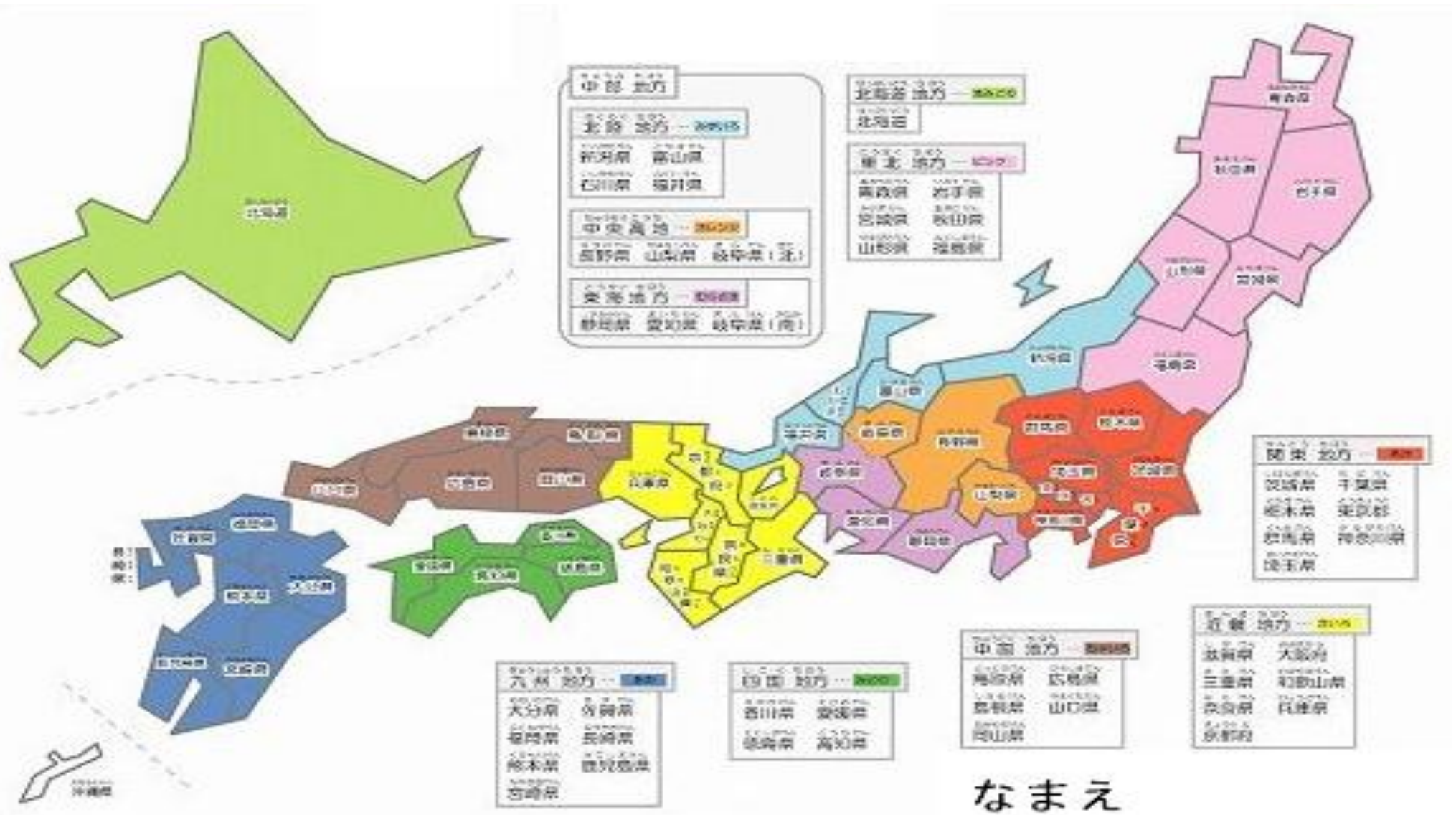
2年 4組

平成24年5月1日現在

学習単位の名称	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
国 語	ローマ字を覚えよう 2年生になって			■中お見舞いをつくろう	自然教室(作文)	校外学習(作文)		げんきキャンプ(作文)	書き初め	→	1年のまとめ
社 会	休日・祝日	身近な地域		→	方位	都道府県を覚えよう			世界の国々	→	1年のまとめ
数 学	時計の学習	足し算 引き算		→	お金の計算			→	電卓の使い方	→	1年のまとめ
理 科	生き物の観察			→	秋の七草	春に作花を植えよう	ペットボトルロケットを飛ばそう		春の七草	春をみつけよう	1年のまとめ
生 活	行事を覚えよう	→	げんき交流会に行こう	小学生と交流しよう	校外学習に行こう	調理をしよう	げんきキャンプに行こう		合同予餞会に向けて		1年のまとめ
音 楽	合奏しよう	→	日本の歌・世界の歌	混声合唱の響きⅠ	合唱コンクールにむけて		鑑賞	混声合唱の響きⅡ		卒業式に向けて・鑑賞	
美 術	砂絵			→	和菓子のデザイン(コンピュータグラフィクス)		木彫				→
保 体	スポーツテスト	短距離走 組み体操	器械運動	水泳	ソフトボール	柔道	長距離走	体作り	バスケットボール	サッカー	
技 術 家 庭	ペン立てを作ろう		ペン立てを先生方に頒布しよう		エクセルの基礎を学ぼう		調理を覚えよう		木工製作をしよう		エクセルを学ぼう
英 語	アルファベットを覚えよう			→	体の部位を英語でおぼえよう			→	身の回りのものを英語でおぼえよう		→
特別活動	自然教室			→	夏休みの計画	自然教室	職場実習に行こう		進路学習		→
日常生活	生き物の世話・こんだて表・予定黒板の記入										→
作業学習	園芸(夏野菜を植えよう)				→	園芸(冬野菜を育てよう)					→
総 合	自然教室		→	働く人たち		→	職場体験	修学旅行に向けて			→

ワークシート 2

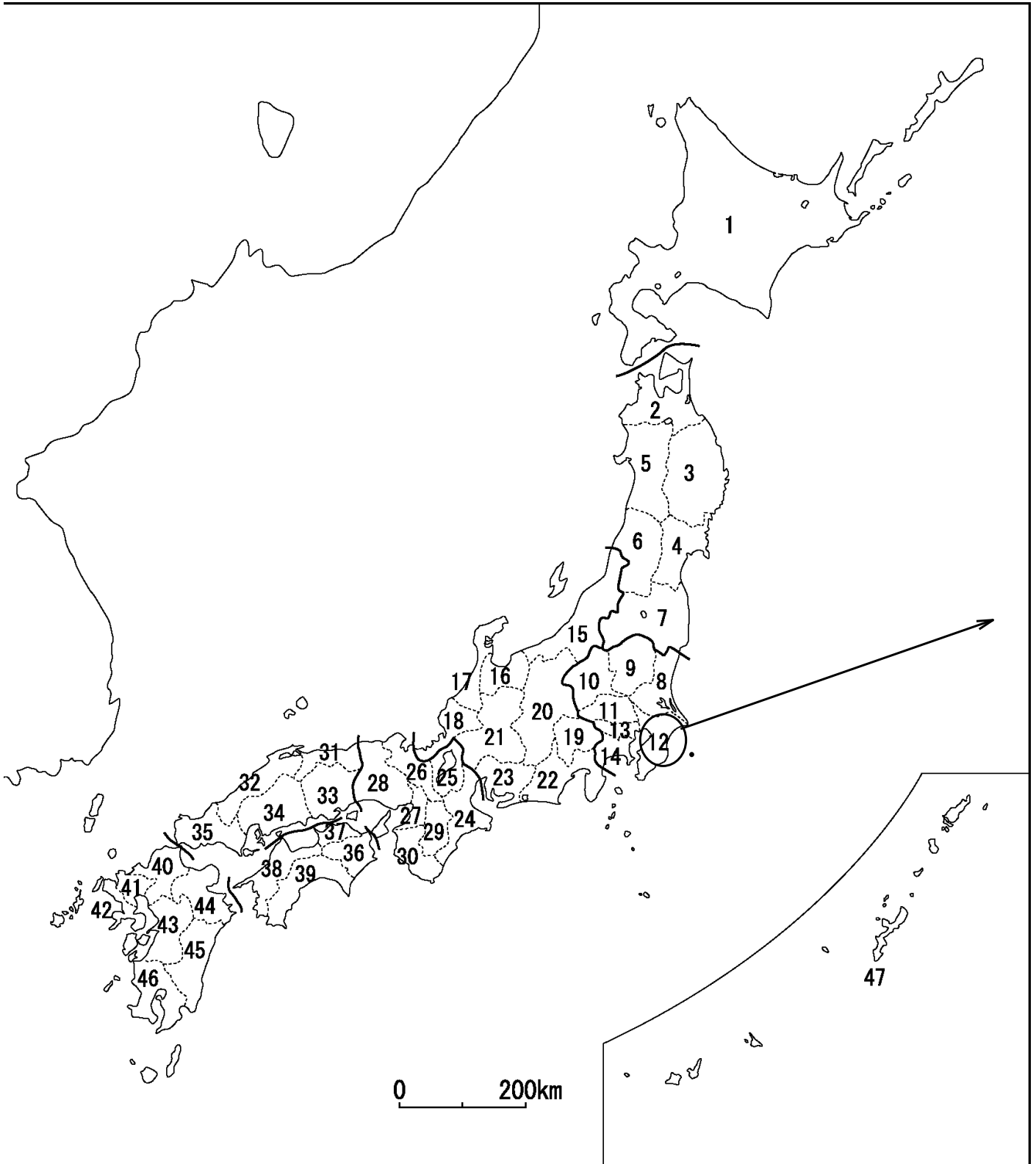
とることのできた都道府県に印をつけよう



なまえ

県庁所在地をしらべよう

1 次の図をみて、手順どおりにワークシートを完成させよう。



手順

- (1) 都道府県カルタで取ることのできたカードの都道府県名を記入
- (2) 都道府県名をローマ字カードで並べる
- (3) 先生に報告する
- (4) ローマ字で記入
- (5) パソコンに県庁所在地を記入
- (6) 都道府県庁所在地を調べ記入
- (7) 都道府県の場所を地図から番号で答える

とることのできた カードの都道府県名	ローマ字	庁所在地	場 所
例) 千葉	chiba	千葉	12